

日本児童教育専門学校 学校関係者評価委員会 開催記録

1.日時 平成31年3月22日(金) 13:00~13:30

2.場所 日本児童教育専門学校

3.委員等氏名及び略歴

佐久間 貴子 株式会社ベネッセスタイルケア 取締役  
橋本 千穂 越谷レイクタウンどろんこ保育園施設長  
奥羽 弥生 株式会社マミーインターナショナル 教育事業部 次長  
岡崎 早苗 株式会社チャイルドステージ 人事総務マネージャー

<陪席>

阿久津 撰 学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 副校長  
中西 和子 学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 教務部長

<事務局>

塩川 由貴子、芝井 華子

◆議事要約◆

\*本校は2学科とも保育系学科のため、当日は学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会を同時に進行した。内容は学校関係者評価委員会に該当部分の抜粋とする。

初めに阿久津副校長より、平成31年1月11日に実施した、今回のテーマである平成30年度文部科学省委託事業『現場実践基礎力を有した保育士養成のための「保育現場での活動」のガイドライン作成』の完了と平成31年度に向けての検討の共有があった。

1. 本年度「保育現場活動」の受け入れやこの活動について委員に意見を伺った。

・実習とは違う受け入れになるため、受け入れ側も戸惑う事があった。見学でもなく、授業の一環として学生が来るため何か得るものがあったほうがいい。遊んだ方がいいか、保育者の動きを見る方がいいのか、職員とどのように落とし込んだらいいか検討した。子どもたちは「現場にいる大人＝遊んでくれる人」と思うため、とても楽しんでいて、学生はあまり考えず、その時間を楽しく過ごせば良いのではないかと感じた。

→ガイドラインに到達するまでは現場の先生も悩まれたはず。この保育現場での活動をより良くしていきたいために、色々のご意見を頂きたい。

2. 平成31年度の予定として資料説明を阿久津副校長より行った。

①「2018年度保育現場での活動の受け入れの御礼及び2019年度計画に関連した御願い」②「保育

現場での活動に関してのお願い」③「2019 年度保育現場での活動講演内容フォーム」④「講演内容パワーポイントサンプル」⑤「2019 年度保育現場での活動参加学生について」⑥「保育現場での活動要綱」⑦「保育現場での活動協定書」

3. 2019 年度の「保育現場の活動」と新科目「子どもと保育」について、中西教務部長・阿久津副校長より説明し、意見交換を行った。(以下抜粋)

保育の原理について現場で学ぶ授業。保育士養成においてとても大事になる。皆様には講演を依頼したいと共に、見学受け入れをお願いしたい。昨年にあった iPad を使用した振り返りはしない。

- ・当日欠席した学生に対し、フォローは必要か。

→不要。

- ・前回の講演を担当したが、現場の先生が話した方がいいか。

→サンプルの内容を盛り込んで貰えたら、話す方の選出は企業にお任せする。

最後に、阿久津副校長が次年度に向けてまとめ、散会となった。

- ・「保育の現場活動」を始めてから、施設実習の休止や中止がなく、全員やり終えた。学校を退学する学生はいるが、底力がついたように思える。これはひとつの成果ではないか。1年とっても色々な事が出来るため、記録を取っていききたい。進捗を共有し、このプログラムに関してご意見を頂ければカリキュラムに盛り込んでいききたい。前期が終わった時点で、また受け入れ企業側の意見を頂きたい。

以上